



# 決算のお知らせ

## 健康保険

### 収入

健保組合の収入はほぼ全額を保険料に頼っております。26年度の保険料収入は、25年度までの保険料率88/1000を93/1000へ改定したことから、前年と比べて1億9,273万円増の39億5,592万円となりました。

この他に、収入不足を補うための繰入金1億4,980万円などを加え、26年度の収入合計は、41

億6,950万円となりました。なお、収入全体に占める保険料の割合は、95%となりました。

### 支出

支出合計は41億4,755万円、前年に比べて1億5,520万円増となりました。

今年度は、保険給付費(通院・入院・薬剤等の医療費や出産一時金・傷病手当金等)はほぼ前年並みとなりましたが、高齢者医療制度援助のための国への納付金が、前年度に比べて1億7,300万円増加したことによるものです。支出の内訳は、約49.7%が保険給付費、約43.5%が納付金でした。なお、保健事業費(特定健診、保健指導費・健康診断時に健保が実施する健診費・電話健康相談費・保養所費・人間ドック、インフルエンザ予防接種、契約保健施設利用等への補助費用など)は支出の3.3%となっております。

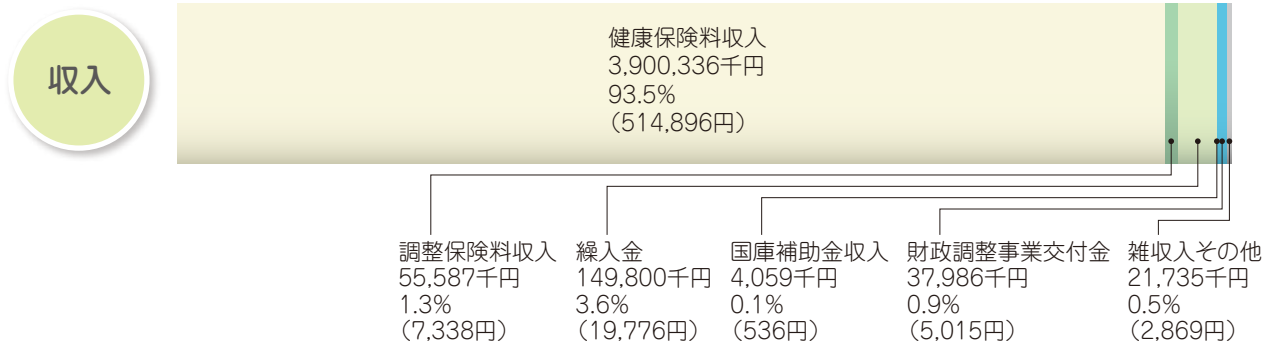
### 決算の基礎数値 (健康保険)

- 被保険者数 7,575人
- 平均標準報酬月額 386,332円
- 平均賞与月数 2.53か月
- 平均年齢 44.65歳
- 扶養率 1.03人

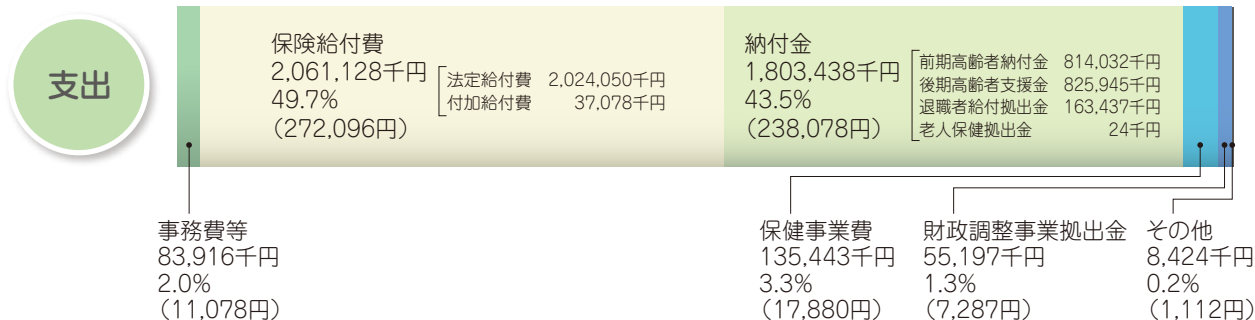
## 健康保険 平成26年度収入支出決算

※( )内は被保険者1人あたり

### 決算額 4,169,503千円



### 決算額 4,147,546千円



7月14日に理事会・27日に組合会が開催され、  
平成26年度の決算（健康保険および介護保険）が承認されました。

### ● 収支残金

収入から支出を差し引いた残額は2,196万円となりますが、収入不足を補うため、法定準備金や別途積立金などの貯金から1億4,980万円を取り崩して収入に繰り入れていますので、健保の運営は実質的には年間1億円以上の赤字ということになります。

### ● 27年度以降の見通し

春の「健保だより」でもお知らせしたように、27年度も引き続き高齢者医療制度のための国への納付金が年間18億円を超えるため、積立金などから2億8千万円の繰入れを前提とした予算を編成しております。

京成健保では、引き続き全国の健保組合の集まりである健康保険組合連合会とともに、高齢者医療制度に対する現役世代の負担軽減に向けた国への要望をおこなってまいります。また、保健指導やがん検診

の実施、糖尿病はじめ成人病相談窓口の設置と医療機関受診のご案内などの各種保健事業を通じ、加入者の健康維持と病気の早期発見・早期治療ならびに医療費負担の軽減に努めてまいります。

## 介護保険（40歳～64歳が対象）

国に納める介護納付金などの支出4億4,371万円に対し、介護保険収入と前年度からの繰越金など収入が4億4,908万円となりました。

なお27年度は、団塊世代の高齢化などによる介護納付金の増加に伴い、保険料率を15/1000としております。

### 決算の基礎数値 （介護保険）

- 被保険者数 5,004人
- 平均標準報酬月額 420,708円

## 介護保険 平成26年度収入支出決算

決算額 449,078千円



決算額 443,714千円

